令和7年深谷市教育委員会第6回定例会会議録

深谷市教育委員会

令和7年深谷市教育委員会第6回定例会

日 時	令和7年6月11日(水)
開 会	午後1時30分
閉 会	午後2時30分
場 所	本庁舎 3階 会議室3-1
出席委員	教 育 長 片 桐 雅 之 教育長職務代理者 荒 井 泉 委 員 久保田 みずき 委 員 寺 山 智 久 委 員 栗 原 孝 子
出席職員	教 育 部 長 松 村 一 教育部次長兼教育総務課長 塚 原 陽 一 教育部次長兼教育施設課長 中 島 武 彦 教育部次長兼学校教育課長兼 指導主事兼教育研究所長 染 谷 明 信 教育部次長兼生涯学習 スポーツ振興課長 花 岡 慎 文化振興課長 知 久 裕 昭 図書館長 澁 澤 武 雄 教育総務課課長補佐 福 島 崇 发言人 学校教育課主幹 高 橋 真 也 兼指導主事

- 1 開会
教育長が開会を宣告
- 2 開議
教育長が開議を宣告
- 3 前回議事録の承認
第5回定例会の会議録を全員異議なく承認
- 4 会議録署名委員の指名
教育長が久保田委員を指名
- 5 報告
 - 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
教育部次長兼教育総務課長より説明。全員異議なく承認
 - 報告2 専決処理の報告について
教育部次長兼教育総務課長より説明。質疑応答後、全員異議なく承認
 - 報告3 令和7年3月深谷市立中学校卒業生の進路状況について
教育部次長兼学校教育課長兼指導主事兼教育研究所長より説明。質疑応答後、全員異議なく承認。
 - 報告4 令和7年度 第1回「ふるさと ふかや・渋沢学」推進会議について
教育部次長兼学校教育課長兼指導主事兼教育研究所長より説明。全員異議なく承認。
 - 報告5 令和7年度 第1回栄一翁みらい宣言実行委員会について
教育部次長兼学校教育課長兼指導主事兼教育研究所長より説明。全員異議なく承認。
 - 報告6 ふっかちゃんふれあいキャンプの実施について
教育部次長兼学校教育課長兼指導主事兼教育研究所長より説明。質疑応答後、全員異議なく承認。
 - 報告7 令和7年5月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
教育部次長兼学校教育課長兼指導主事兼教育研究所長より説明。全員異議なく承認
 - 報告8 深谷市地域学校協働活動推進員の委嘱について
教育部次長兼生涯学習スポーツ振興課長より説明。全員異議なく承認
- 6 議案
 - 議案第13号 深谷市社会教育委員の委嘱について【非公開】
教育部次長兼生涯学習スポーツ振興課長より説明。原案のとおり可決
- 7 閉会
教育長が閉会を宣告

議事等の概要

報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について

教 育 長 事務局より説明を求めます。
教育部次長兼教育総務課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

報告2 専決処理の報告について

教 育 長 事務局より説明を求めます。
教育部次長兼教育総務課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
寺 山 委 員 歳出予算補正の文化財活用事業につきましては、深谷市指定文化財である瑠璃光寺の仁王門の修繕に係る補助金を増額補正していますが、補正額1,000万円全額が瑠璃光寺の仁王門の修繕に係る補助金として支出されるのか教えてください。
文化振興課長 本補助金は、事業費の2分の1以内が補助対象となり、1,000万円が補助金の上限額となります。瑠璃光寺の仁王門の修繕費は、総額3,000万円以上であるため、今回の増額補正額1,000万円を瑠璃光寺の仁王門の修繕に係る補助金として支出する予定です。
教 育 長 歳出予算補正の幼稚園・こども館複合施設建設事業(幼稚園)は、財源更正を行うとのことですが、財源更正の内容について教えてください。
教育部次長兼教育施設課長 今回の財源更正は、国の補助金の内示及び交付決定を受けていなかったため、令和7年度当初予算にて一般財源として全額計上しておりました。

その後、令和7年4月17日に国の補助金の内定の連絡があり、令和7年6月2日に交付決定となったことから、一般財源から国負担に組み替えるため、財源更正とさせていただきます。

報告3 令和7年3月深谷市立中学校卒業生の進路状況について

教 育 長 事務局より説明を求めます。
教育部次長兼学校教育課長兼指導主事兼教育研究所長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
久 保 田 委 員

1点目として、深谷市外の高等学校に在学する深谷市内の生徒の割合が増加傾向にあります。市外の高等学校と中高連絡協議会が行われているのか教えてください。

2点目として、進学に関する埼玉県統計を見ると、高校授業料無償化等の影響で私立高等学校への進学が増加傾向にあります。深谷市の推移はどうなっているか教えてください。また、主な進学先が昨年とほぼ変化がありませんが、進学した生徒の人数が多い高等学校を抜粋しているのか教えてください。

3点目として、議案書の6ページでは「令和7年3月 深谷

市立中学校卒業生の主な進学先」と表現していますが、7ページでは「令和7年3月 深谷市内中学校卒業生の動向」と表現しているため、文言を統一できればよいと感じますが、見解を教えてください。

教育部次長兼学校教育課長兼
指導主事兼教育研究所長

1点目につきましては、中高連絡協議会を年2回実施しており、熊谷にある高等学校と寄居深谷にある高等学校で各1回ずつ行っております。第1回目の中高連絡協議会では、深谷市から高等学校に進学した生徒の情報交換を行っております。

2点目につきましては、令和7年3月に卒業した生徒のうち、私立高等学校へ進学した生徒の割合は、高等学校によって増加したり減少したりしております。

3点目につきましては、次回以降、表現を「深谷市立」に統一いたします。

久保田委員

令和7年3月に卒業した生徒の数に対して、私立高校等で1月末までに進路が確定した生徒の数の割合を算出すると、一昨年の割合が23%、昨年の割合が25%、今年の割合が23%となりますが、このような単純計算ではないという理解でよいのか教えてください。

教育部次長兼学校教育課長兼
指導主事兼教育研究所長
教 育 長

計算方法等を含めて改めて確認し、後日報告いたします。

熊谷西高等学校や本庄高等学校については、中高連絡協議会が実施されているとのことですが、生徒が進路先としてこれらの学校を希望することが多いため、進学者数が増加したという解釈でよろしいでしょうか。また、7ページに「令和7年3月 深谷市内中学校卒業生の動向」とありますが、これは深谷市立中学校に関するものであり、深谷市内の私立中学校は含まれていないという理解でよろしいでしょうか。

教育部次長兼学校教育課長兼
指導主事兼教育研究所長
寺 山 委 員

お見込みのとおりとなります。

6ページでは、深谷市内の生徒の割合を算出するにあたり、各学校の募集人員に対する進学した生徒の割合を計算していますが、定員割れしている学校もあるため、募集人数ではなく各学校の合格者数を基に割合を算出した方がより正確ではないかと思えます。これに関する見解を教えてください。

教育部次長兼学校教育課長兼
指導主事兼教育研究所長

募集人員が変動するケースもあるため、各学校の合格者数に対する進学した生徒の割合ではなく、各学校の募集人員に対する進学した生徒の割合を算出しております。

寺 山 委 員

学校によって定員割れとなる高等学校もありますので、定員割れしていることが分かる情報を記載していただくと、より分かりやすいと感じました。

教育部次長兼学校教育課長兼
指導主事兼教育研究所長
教 育 長

来年度以降、定員割れの情報を記載することを検討いたします。

新聞等で報道されたように、定員割れしている高等学校もあります。来年度以降は、これまでの算出方法とは別に、合格者

に対する進学した生徒の割合を別資料として作成してください。

栗原委員

7ページの「令和7年3月深谷市内中学校卒業生の動向」の中で、公立高等学校に出願した生徒が894名であるのに対し、公立高等学校を受験した生徒が892名であるため、2名が受験していないこととなります。その2名の進路について教えてください。

また、深谷市立小学校を卒業した後に私立中学校に進学する児童が増加傾向にあると思いますが、私立中学校に進学した児童の人数を教えてください。

学校教育課主幹兼指導主事

例年、国立の群馬工業高等専門学校を受験している生徒が一定数います。この群馬工業高等専門学校の合格発表が公立高等学校の出願時期より遅いため、国立の群馬工業高等学校と公立高等学校を併願した後、群馬工業高等専門学校に合格した生徒が出願辞退をしたということになります。

教育部次長兼学校教育課長兼指導主事兼教育研究所長

令和7年3月に卒業した生徒のうち、私立中学校へ進学した人数は38名で、割合は3.2%となります。令和5年度から今年度までの私立中学校へ進学した生徒の割合は、令和5年度で2.9%、令和6年度で3.0%と、少しずつ増加している状況です。

報告4 令和7年度

教育長

教育部次長兼学校教育課長兼

指導主事兼教育研究所長

教育長

第1回「ふるさと ふかや・渋沢学」推進会議について

事務局より説明を求めます。

(概要を説明)

本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

報告5 令和7年度

教育長

教育部次長兼学校教育課長兼

指導主事兼教育研究所長

教育長

第1回栄一翁みらい宣言実行委員会について

事務局より説明を求めます。

(概要を説明)

本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

報告6 ふっかちゃんふれあいキャンプの実施について

教育長

教育部次長兼学校教育課長兼

指導主事兼教育研究所長

教育長

寺山委員

事務局より説明を求めます。

(概要を説明)

本報告について、質疑はありませんか。

募集期限が令和7年6月13日(金)と短いですが、募集等に問題がないのか教えてください。

教育部次長兼学校教育課長兼

指導主事兼教育研究所長

募集期限は令和7年6月13日(金)としておりますが、現在募集定員20名に対し、申込者は7名であるため、園長・校長会を通して再度募集を行っております。

また、定員に満たない場合は再募集を検討していきたいと考えております。

久保田委員

チラシの配付方法を教えてください。

また感想としては、キャンプに参加することは、保護者や子供たちにとって勇気のいる一歩だと思います。キャンプという非日常から日常に戻った後も、児童生徒に柔軟な支援が行き届いてほしいと感じました。

教育部次長兼学校教育課長兼
指導主事兼教育研究所長

チラシの配布方法は、教育委員会から各学校に配布し、各学校のアプローチルームの担当教員が対象児童に配布しています。

また、生徒指導担当の教員や中学校では教育相談担当の教員が対象児童の保護者に連絡を取り、配布しています。

ふっかちゃんふれあいキャンプを実施し、各学校で行っている不登校支援に活かしていきたいと考えております。

教 育 長

チラシや募集の方法については、アプローチルームに通っている児童生徒への募集方法、教育研究所の「フリースペースえがお」に通っている児童生徒への募集方法をシミュレーションし、募集対象を絞って周知を行っています。ふっかちゃんふれあいキャンプ終了後に、キャンプの運営を担う不登校特別対策委員会において不登校対応指針を新たに策定していきたいと考えております。

不登校児童生徒への対応方法については、児童生徒の多様性を踏まえながら深谷市で統一していきたいと考えております。

報告7 令和7年5月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】

教 育 長
教育部次長兼学校教育課長兼
指導主事兼教育研究所長

事務局より説明を求めます。

(概要を説明)

教 育 長

本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

報告8 深谷市地域学校協働活動推進員の委嘱について

教 育 長
教育部次長兼生涯学習
スポーツ振興課長

事務局より説明を求めます。

(概要を説明)

教 育 長

本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

議案第13号 深谷市社会教育委員の委嘱について【非公開】

教 育 長
教育部次長兼生涯学習
スポーツ振興課長

事務局より説明を求めます。

(概要を説明)

教 育 長

本議案について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

本議案について、討論はありませんか。

(討論なし)

本議案について、採決をいたします。

本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。

本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

次回令和7年第7回定例会は、7月9日（水）午後3時00分から開会です。

以上で、令和7年深谷市教育委員会第6回定例会を閉会します。

署名 この会議録は全員異議なきを認めここに署名する。

久保田委員

教 育 長